

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業の効果検証結果

- 本交付金は、国が地方版総合戦略の円滑な策定とこれに関する優良な施策を支援することを目的に創設しました。
- 重要業績評価指標(KPI)をもとに事業実施に伴う効果を評価、検証しました。

地方版総合戦略の位置付け	事業名	事業概要	事業費【交付金額】(千円)	重要業績評価指標 (KPI)			評価及び今後の方針
				指標	目標	実績(H28.3)	
一	まち・ひと・しごと創生推進事業【総合戦略課】	日南市総合計画コンセプト「創客創人」を踏まえ、人づくりを土台に、仕事づくり・まちづくり・地域づくり・次世代育成に戦略的に取り組み、「どこよりも誇れるまち」になることを目指す「日南市総合戦略」を策定するために必要な調査等を実施する。	4,350	一	一	一	平成27年10月「日南市総合戦略」策定
地域産業の再活性化と新しいビジネスが創出できる環境	経営継承支援事業【農政課】	後継者不在のため近い将来廃業を余儀なくされる高齢者等の農業者と、資金・経験・農地確保等の課題を抱える新規就農希望者をマッチングし、農地・機械・施設・経営ノウハウ・販路まで含めた「経営資産」の継承を促進することで、地域農業の持続性を確保する。	2,000	体験ツアー参加者数	20人	4人	経営移譲に前向きな農家と新規就農希望者を把握できたので、今後は二者をマッチングさせ、経営継承までつなげていく仕組みをつくり、地域農業の持続性を確保していく。
				経営移譲意向把握数	10件	15件	
	起業家誘致育成事業【商工政策課】	「働く場」の創出を目指して、まず日南市の魅力を知ってもらい、その後の本格的な起業・企業進出を促進することを目的に、起業(企業)の合宿を誘致し、同時に合宿者も含めた起業家等を対象としたメンター講座を開催することで、起業家の育成を図る。更に全国初の公設コワーキングスペースである油津赤レンガ館や合宿誘致・メンター講座等の取組をPRすることで、起業家誘致やコワーキングスペースの利活用促進、サテライトオフィスの誘致を図る。	5,000	雇用者、起業家誘致数	10人	14人	企業合宿誘致45社(60人)と一定程度の事業効果があり、今後は、起業家誘致、育成やテレワーク推進を連携・発展させ、地域産業の再活性化と新しいビジネスが創出できる環境を作っていく。
			起業家(企業)合宿誘致数	4組	8組		
			メンター講座開催回数	34回	9回		
	クルーズ船を軸とした広域的な観光振興事業【観光・スポーツ課】	日南市油津港において、H27.4月に16万トン級の船舶が寄港できる岸壁が完成することから、南九州の海の玄関口として、更にアジア地域等から発着する太平洋側日本クルーズにおける起点として、大型クルーズ船の寄港を促進し、国、県、周辺自治体、民間事業者等で構成する広域的な組織により、一体的な受入体制を構築し、広域的な経済効果の増加を図る。	35,358	クルーズ船の寄港回数	10回	8回	本市を含む10市町が連携し、周遊ルートの形成などインバウンドの環境整備に取り組み、さらなるクルーズ船の寄港の増加、国別受入れ体制を構築し、消費額の増加を図る。
			広域観光協議会関係会議開催回数	5回	5回		

地方版総合戦略の位置付け	事業名	事業概要	事業費【交付金額】(千円)	重要業績評価指数 (KPI)			評価及び今後の方針
				指標	目標	実績(H28.3)	
地域産業の再活性化と新しいビジネスが創出できる環境	福岡からふるさとを応援します！支援事業【観光・スポーツ課】	「ふるさとのために何かできないか」との思いで日南市の焼酎・農産物等の特産品を提供している福岡市内の日南市出身者が経営する飲食店等が実施するキャンペーン・イベントを支援することにより、九州最大の都市である福岡市で日南市の魅力を効果的にPRし、日南市への観光客誘致を促進する。	1,600	県外観光客数	913,000人	1,041,488人	500万人以上の人口を有する福岡圏内への情報発信としての効果やフェアを通して食材について興味があった店に生産者を派遣し、販売ルートの確立に向けた取り組みができた等展開した効果も見られたことから、民間団体である福岡シンパシーストアの会が主体となった取組みを図り、観光誘致につなげていく。
	「旅と癒し」ツーリズムで心と身体の健康づくり事業【北郷町総合支所】	森林や温泉等の地域資源を活用した治療技術専門家(セラピスト)を育成し、セラピストを中核とした療法的な誘客プログラムを開発・提供することにより、地域に雇用と交流人口の増加をもたらす仕組みを構築し、その後行政組織外の運営主体の設置と運営移行を目指す。	5,700	バルネオセラピスト養成	5名	5名	新たなツーリズム(観光プログラム)の提供に必要な人材育成などの効果があり、今後は様々な連携を図ることによって発展させ、新たな観光地域づくりを行い「稼ぐ力」の向上につなげていく。
	先端計測とAIシステムを活用した「営農」における「創客創人」事業【農政課】	3自治体が連携をし、地域連携ブランドビジネスの創出を目指すとともに、研究機関等と連携し栽培技術の革新的な向上を図ることで、「太陽のたまご」の認定率を高め、農家の所得向上につなげる。さらに技能継承システムによる新規就農者への教育支援を行い、安心して就農できる環境構築と定着率向上を図り、生産産業の発展と雇用創出につなげる。	26,950	森林セラピスト養成	3名	9名	
				入浴指導者養成	1名	3名	
プログラム開発数				5件	4件		
赤と青増殖計画！プロ野球キャンプ盛り上げ対策事業【観光・スポーツ課】	開始から53年を経過した広島東洋カープと12年を経過した埼玉西武ライオンズの2つのプロ野球球団のキャンプ受け入れについて、特に女性ファンの増加に着目して体制を充実させることで見学客の増加を図ることにより、関連地元産業の振興を図る。 また、広島東洋カープキャンプ実施球場の立地が地元商店街に近いことから、見学客の商店街への周遊を図り、商店街活性化に繋げる。	8,386	AIシステム、環境計測・制御システム、植物生理計測システム整備箇所数	3圃場	3圃場	AIシステムによるデータ収集やブランディング連携の組織構築が図れたことから、AIシステムの構築と広域連携によるブランディングの強化や知的財産管理体制の構築を図っていく。	
			3自治体ブランディング連携推進協議会開催数	2回	5回		
				H28春季広島東洋カープキャンプ来場者数	60,000人	57,000人	プロ野球球団の受入体制の充実、関連地元産業の振興を図ることができ、今後もさらにキャンプ受入体制の充実を図り、地域の活性化につなげていく。
				H28春季埼玉西武ライオンズキャンプ来場者数	11,000人	11,800人	

地方版総合戦略の位置付け	事業名	事業概要	事業費【交付金額】(千円)	重要業績評価指数 (K P I)			評価及び今後の方針	
				指標	目標	実績 (H28.3)		
地域に誇りを持つ人が一人でも多くなる	移住促進空き家再生推進事業 【地域振興課】	移住相談や空き家対策等を目的としたコーディネーターを配置し、移住受入体制の充実を図るとともに、日南市飫肥伝統的建造物群保存地区をはじめとする空き家の増加が顕著な地域のまちの活性化を推進する。また、居住可能な空き家の改修等に係る補助を行うとともに、宅建業協会や建築業協会の協力のもと、家賃回収のモデル提示や専門業者紹介など、所有者の住宅貸出に関する不安に対応することで、移住者の受け皿となる住宅の確保を推進する。	12,700	移住コーディネーター配置	1人	1人	空き家改修、コーディネーター配置をしたことで、3月に改修した空き家にH28年度に入りすぐに入居があるなど効果が表れてきている。今後は、官民協働により更なる展開を図り、まちの活性化を推進していく。	
	空き家改修	5戸	5戸	オフィス改修	1件	1件		移住世帯数
市民力の高まりによる住民自治の実現	創客創人ブランディング事業 【総合戦略課】	日南市まちづくりのコンセプト「創客創人」は、新たな発想や創意工夫によって次々と産業を興したり地域を活性化していく人々をつくり出すことにより、市の雇用創出や人口減少対策につなげていくことを意味している。これは、人づくりこそが、新しい産業を生み、雇用をつくり、街をつくるという考え方を基にしたものである。このコンセプトを市民に広く発信・広報することにより、市民認知度の向上と価値観の市全体での共有を図り、市と市民が一体となって地方創生に向けた取組を推進することを目指す。	1,614	「創客創人」を認知している市民の割合	60%	49.5%	コンセプトの「創客創人」を市民に広く発信・広報することができた。今後も市広報誌、ホームページ、シンポジウムの開催などで具体的な取組・成果を発信していくことで「地域に誇りを持つ人」を増やしていく。	
	高校新卒者の地元就職率	33%	32.5%	地区が実施する事業	9事業	24事業		全ての地区において人口が減少する中、コミュニティの再生や地域の課題解決等に向けた事業が取り組まれ、事業目的である「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まちの活性化」が図れた。今後も各地域において更なる取り組みを目指していく。
自らの道を切りひらく次世代の育成	次代を担う子どもを育むキャリア教育推進事業 【学校教育課】	小中学校において外部講師による実践的なキャリア教育を実施し、また子どもたちが日常触れることの少ない地域産業で誇りを持って働く人々の職場を訪問する機会を創出することで、将来は日南市で就業し、更には新たな産業を起こして次世代を担う児童生徒の育成を図るとともに、保護者・教師にも学習してもらうことで家庭や学校での成果の継承・発展を推進する。	1,800	実施対象児童・生徒中、将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	90%	78%	多くの講座を開催することができ、内容も充実したものができた。今回の成果を研究し、実践的なキャリア教育を探究することで、自らの道を切りひらく次世代の育成を図っていく。	
	講座開催回数	84回	79回	地域産業職場訪問回数	1回	2回		